

平成27年度東北大学附属図書館企画展

狩野亨吉生誕150周年記念



TOHOKU UNIVERSITY

狩野文庫の世界

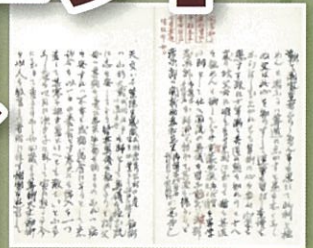
かのう こうきち
～狩野亨吉と愛蔵書～



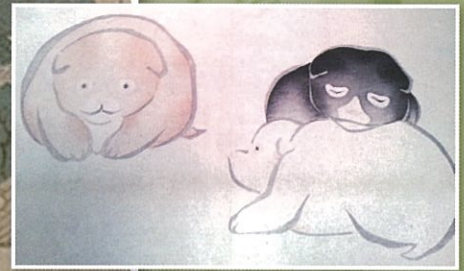
狩野亨吉(「狩野亨吉の思想」より)



「山満多山」



「本多利明先生行状記」



「狂齋畫譜 初編」

「古典の百科全書、江戸学の宝庫」
10万点以上のコレクションから大公開!

日時:平成27年10月5日(月)～11月3日(火)

10:00～17:00 入場無料

場所:東北大学附属図書館本館
1階エントランスホール/多目的室

プロローグ

狩野文庫の世界へようこそ

【第1部】コレクター狩野亨吉

【第2部】狩野文庫の至宝

【第3部】亨吉の探求と再発見

【第4部】亨吉の愉しみ

記念講演会 入場無料

日時:平成27年10月24日(土) 開場 13:00 開演 13:30
会場:東北大学附属図書館本館 2階グローバル学習室

◎第一部「狩野亨吉と東北大学」

曾根原理氏(東北大学学術資源研究公開センター史料館助教)

◎第二部「狩野亨吉の蒐書方針と学術的特色について」

磯部彰氏(東北大学東北アジア研究センター教授)

■狩野文庫特別ツアー 講演会終了後、15:50頃～

日頃は入れない狩野文庫などの書庫にご招待!講演会終了後にご案内いたします。ツアー後、ガイド付き展示鑑賞も実施します。

■ガイド付き展示鑑賞 講演会終了後、15:50頃～

参加希望の方は、時間までに展示会場にお越しください。

アクセスMAP

- JR仙台駅西口バスプール9番より『理学部・工学部経由 動物公園循環』、『宮教大』、『青葉台』、『成田山』行きに乗車
- 『東北大川内キャンパス・萩ホール前』で下車



※ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

主催:東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内27-1 TEL:022-795-5911(代表)

狩野文庫の世界～狩野亨吉と愛蔵書～

企画展関連行事開催のお知らせ

< 企画展関連行事 >

■ 記念講演会 入場無料

日 時: 平成27年10月24日(土) 開場 13:00 開演 13:30

会 場: 東北大学附属図書館本館 2階グローバル学習室

◎ 第一部「狩野亨吉と東北大学」

曾根原 理 氏 (東北大学学術資源研究公開センター史料館助教)

◎ 第二部「狩野亨吉の蒐書方針と学術的特色について」

磯部 彰 氏 (東北大学東北アジア研究センター教授)

■ 狩野文庫特別ツアー 10月24日 講演会終了後、15:50頃から

日頃は足を踏み入れることのできない狩野文庫などの書庫にご招待!

講演会終了後にご案内いたします。事前予約などは不要です。

ご希望があれば、ツアー後、ガイド付き展示鑑賞も行います。

■ ガイド付き展示鑑賞 10月24日 講演会終了後、15:50頃から

本展示を資料解説付きでご案内いたします。参加ご希望の方は、

時間までに1階入口脇の展示会場(多目的室)にお越しください。

記念講演会 第一部

「狩野亨吉と東北大学」

東北大学学術資源研究公開センター史料館助教 曾根原 理

狩野文庫は、東北大学の蔵書の白眉として知られている。しかし、旧蔵者の狩野亨吉と東北大学の関係はごく薄い。狩野は秋田県の士族出身だが、若くして東京に移住し、東京で進学し、第一高等学校(東京)や京都帝国大学の教授をつとめた。彼の旧蔵書が東北大学に収められたのは、旧友の沢柳政太郎が東北帝国大学の初代総長になった縁による。それは単なる偶然とも言えるが、偶然にとどまらない結果をもたらしたと考えられる。

狩野の友人に漱石がおり、漱石門下の阿部次郎や小宮豊隆は、狩野が第一高等学校長時代の生徒であった。阿部や小宮は、東北帝国大学に法文学部が設けられた際に、仙台に赴任し、狩野や漱石の影響を受けた学風を創りだした。東北大学自体は狩野との縁が薄かったものの、狩野の生涯は間接的に東北大学の歴史に寄与していたのではないだろうか。阿部や小宮の活動を通じて、その点を考えてみたい。

記念講演会 第二部

「狩野亨吉の蒐書方針と学術的特色について」

東北大学東北アジア研究センター教授 磯部 彰

廃藩置県後、旧大名家では、江戸時代以来の蔵書や什器などで不要な品々とされたものは処分された。一方、新たに興った財閥などの新時代の担い手は、家名の上昇と文化保護者を目指し、投資を兼ねて市場に放出された様々な文化財を購入した。その中であって、狩野亨吉は、私費をもって典籍、古文書、絵画、洋書など多数のジャンルのものを購入した。彼が目を向けたものは、文化史研究の資料群であり、それは明治初年までの日本に蓄積されて来た文化そのものであった。

今日、東北大学の狩野文庫には、宋元版や旧鈔本、絵画・地図など、すぐれた文化財が多くあるため、東北大学蔵本が狩野亨吉の蒐集品すべてのように錯覚しがちである。この度の講演では、狩野コレクションがいくつかの地に離散したこと、しかしそれでもなお東北大学には数多くの名品が保存されていることを、狩野文庫本蔵書目録、明清小説、江戸の絵本、印譜などいくつかの資料を紹介しつつ、狩野文庫の特徴と狩野亨吉の蒐集意図をお話しさせていただく予定である。